

日曜日礼拝順序

憩いの場

2019年3月10日 午前11時 南部チャペル

“初めにことばがあった”

前奏		鈴木義兄
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
讃美 祈りの時	讃美歌1 “神のちからを とこよにたたえん”	Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		一同
	マタイによる福音書5章13-16節	
讃美	讃美歌239 “さまよう人々 たちかえりて”	
説教	“主イエスのみことば 2”	Scroggins 由紀牧師
讃美 献金	讃美歌405 “かみともにいまして”	下竹由美子姉
讃美 聖餐式	讃美歌205 (1-2節)	Scroggins 由紀牧師
讃美 報告	讃美歌205 (3-4節)	
頌栄 祝祷 後奏	541	Scroggins 由紀牧師 鈴木義兄

(礼拝終了:奉仕開始)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

“初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。” (ヨハネによる福音書1章1節)

言葉の力というのは偉大だと思います。感動的なストーリーや詩などを読んだときに、私たちは励まされ、人生が変わることもあります。機械的なことはロボットやコンピューターで処理できても、人間に与えられた言葉、という能力は、そう簡単に変えられる日は来ないでしょう。

聖書は、はじめに言葉があった。言葉は神であった、と書いています。それほど言葉とは人間のあり方とつながったものです。しかし、日常的に私たちは言葉をぞんざいに使いすぎてはいないでしょうか。何かのはげ口に、言葉を使うことは信徒としては避けたい行動です。それよりも、普段から聖書のみ言葉に接して、何かネガティブな話を聞いた時には、言った本人とともに、その人のために祈る、という姿勢は、未来に希望を持たせるためにも大切かと思います。

この世知辛い世の中にあっても、自分が普段から発している言葉がどのようなものであるか検討してみる価値はあるかもしれません。それほど、心の平安と言葉には大きなつながりがあり、心の平安と幸せにはつながりがあります。どんな状況でも、私たちの言葉一つ一つに、愛と感謝、希望、喜びがあふれますように、ご聖霊のお力により助けられますように。(Scroggins 由紀)

記事: 消息

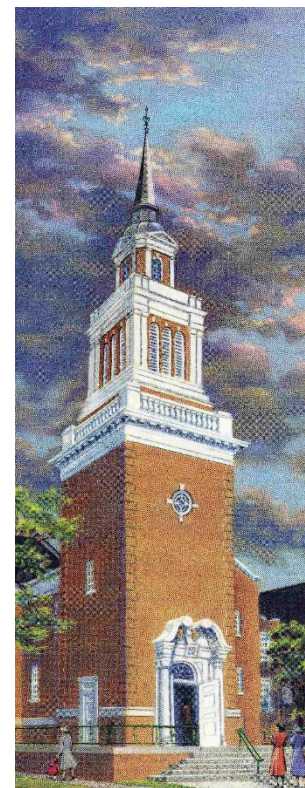
— 陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、Chieko Dano 姉、下竹寛子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron Barlow 兄、Donna Barlow 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

お知らせ

— 本日は Daylight Saving Time が始まる日です。皆さん、時間に気を付けて礼拝にご出席ください。

— 3月17日はリトリートが前回と同じく Encounter Point にて行われます。礼拝は午前11時からですが、場所は午前10時30分より開いていますので、早めに来られても大丈夫です。またランチも出ますので、親睦の時間を持つこともできます。日本語部メンバー以外で、出席をご希望の方は、由紀牧師までご連絡ください。参加費は無料です。

発行: 2019年3月6日 ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200



週報

第3712号
2019年3月10日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200
Web: www.northshorebaptist.org